

平成22年度概算要求における科学技術関係施策(競争的資金)(継続案件)

(金額の単位:百万円)

見解(原案)	見解(最終決定)	施策名	所管	概算要求額	前年度予算額	最重要政策課題	重点推進課題	施策の概要	ヒアリング時における有識者コメント(有識者議員名)	ヒアリング時における外部専門家コメント(匿名)	改善・見直し指箱内容(原案)(分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、制度面での課題も指箱)	改善・見直し指箱内容(最終決定)(分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、制度面での課題も指箱)	21年度予算額からの増減の理由(パブリックコメントの主な例)
優先	優先	大学院教育改革推進事業のうち、テーマA「グローバルCOEプログラム」[競争的資金]	文部科学省	34,136	34,228	-	-	我が国の大学院博士課程専攻において、世界をリードする創造的な研究者・技術者を養成するため、学問分野ごとに国際的に卓越した教育・研究拠点を形成するための支援を行う。支援期間は原則5年間。平成22年度は、平成19～21年度に採択済みの41大学140拠点(我が国の大学院博士課程専攻の約5%)に対する継続支援を行う。 ○1拠点当たり平均支援金額:243百万円 うち間接経費:56百万円 ○支援拠点数:140拠点 ○その他評価等経費:81百万円	・大変重要なプログラムである。研究・人材育成の中での位置づけをはっきりする必要がある。それに応じた評価が必要である。(青木玲子議員) ・制度改革のインセンティブを加えること(キャリアパス構築、女性、外国人、他学身者の割合、テニュアトラック)(本底佑議員) ・大型のものでなくさらに光る小規模なものも大切(本底佑議員) ・機器整備事業を進める(本底佑議員) ・2局化が必要。国際ベンチマークで評価(本底佑議員)	・大学院の改革発展に重要な制度。さらに加速推進すべき。 ・終了後にはこの制度があったからこそ改革充実した大学院制度についての検証が必要。また、学生の進路に関する流動性をより加速し、学生により広い選択が実現するような対策を組み合わせる必要がある。 ・大学院のシステム改革として重要な施策である。 ・継続的に十分な支援が必要。 ・大学院の研究・教育の高度化に大きく寄与している。 ・評価に当たっては研究成果のみでなく人材育成、大学院の水準UPに寄与している点こそ大きく考慮すべきである。	○大学院の研究・教育の高度化に大きく寄与し、大学院のシステム改革として重要な施策であり、継続的に十分な支援が必要。 ○評価に当たっては研究成果のみでなく、人材育成をはじめる点こそ大きく考慮すべきである。 ○本施策に対するパブリックコメントの集計結果は、賛成127件(一部改善との意見5件も含む)、反対6件であった。 ○以上を踏まえ、優先して実施すべき。(本底佑議員)	原案と同じ。(本底佑議員)	「国際競争を勝ち抜ける高度産業人材などの科学技術人材の育成強化」を推進する資源配分方針を踏まえて要求。厳しい財政状況を勘案し、平成22年度においては、新規拠目の採択は実施せず、継続支援のみを実施。 【パブリックコメントの主な例】 ・世界における拠点作りが大きく貢献し、若手研究者に研究の場を与えているこのグローバルCOEプログラムを優先すべきであると考え。これは人づくりの重要なプログラムである。
優先	優先	世界トップレベル研究拠点(WPI)プログラム[競争的資金]	文部科学省	9,312	7,109	-	-	世界的な著名研究者を拠点長として責任者に位置付け、その下に高いレベルの研究者が結集する、優れた研究環境と高い研究水準を誇る基礎研究分野を対象とした世界トップレベルの研究拠点を形成する。 平成22年度は、低炭素社会への貢献が期待される環境・エネルギー分野といった、地球規模問題の解決に資する分野等で、新規に3拠目の拡充を図る。 ○1拠点あたりの金額:1,413百万円 うち間接経費:323百万円 ○既存拠点数:5拠点 ○新規採択予定拠点数:3拠点(1拠点あたりの金額は半年分) ○その他事務経費等:125百万円	○3拠目の増加は適切と考えられる。このシステム改革が全体に影響を及ぼすようになることが望ましい。(本底佑議員) ○非常に重要。個々の課題を処理していくことがかなりの程度システム改革に繋がる。(白石議員)	○世界トップレベルの研究者を集め、新しい融合領域を創出することは、学術の発展に不可欠であり、専門分野ごとに行われがちな我が国の研究活動に大きなインパクトを与えるものと評価できる。 ○現在の5拠点では、拠点長によるトップダウンマネジメントが可能な組織制度、学内の通常の給与水準と異なる能力に見合う給与システムの導入など、システム改革が行われ、大きな成果をあげている。 ○これらのシステム改革の内容をさらに充実させ、その成果を他の研究機関等に波及させることが必要であるので、3拠目の増加については適切と考えられる。 ○本施策に対するパブリックコメントの集計結果は、賛成160件(一部改善との意見4件も含む)、反対6件であった。 ○以上のこと踏まえ、優先して実施すべき。(本底佑議員)	原案と同じ。(本底佑議員)	「環境・エネルギー分野などの技術革新で世界をリードするという視点に重点を置く」、「基礎研究を強化すると資源配分方針を受けて、新規に3拠目の拡充を図る。 【パブリックコメントの主な例】 ・日本が伝統的に抱える「世界からの孤立」という問題点を克服して、世界の科学技術リーダー国としての役割を果たすために極めて重要な事業。	